

5. 子育てについて

(13) 子どもの育て方について

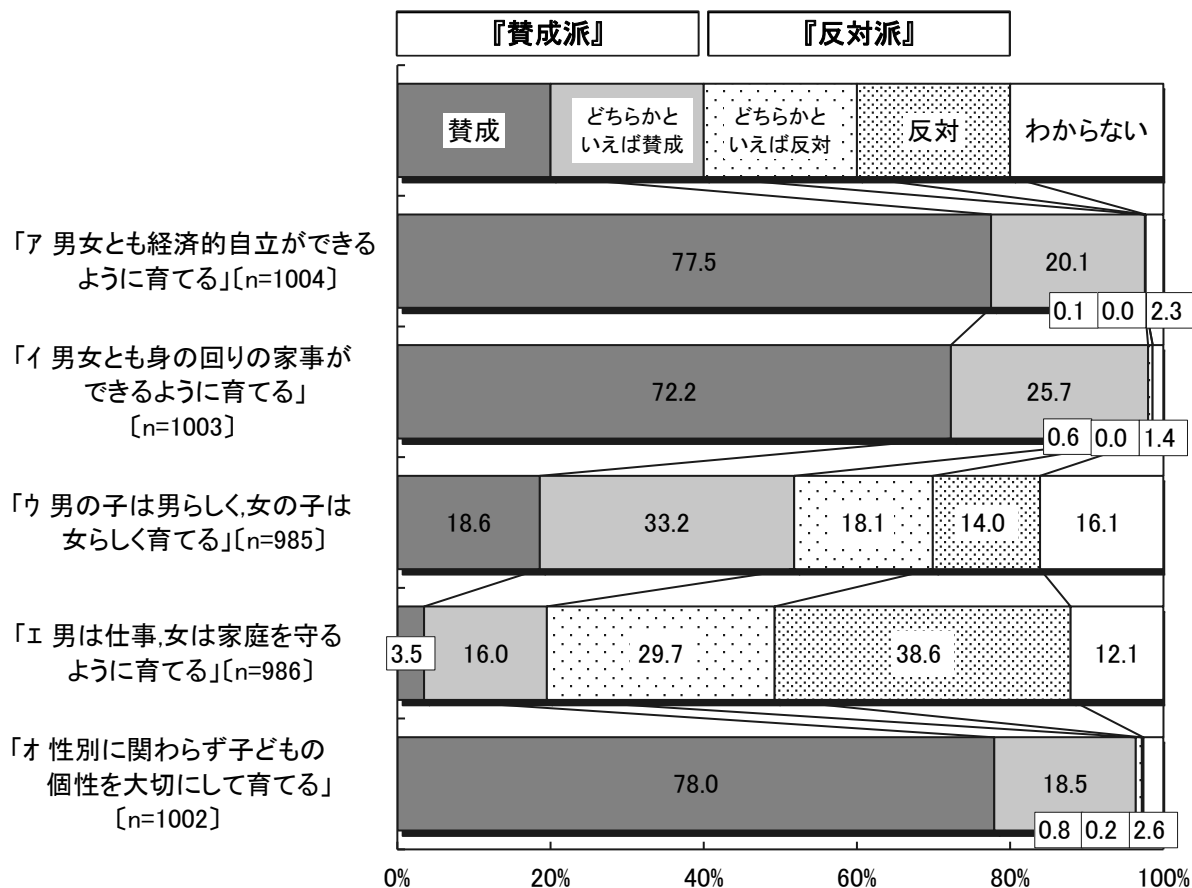
問13 あなたは、子どもの育て方に関する次のような方針について、どのように考えていますか。それぞれについて1～5のいずれかに○

「男女とも身の回りの家事ができるように育てる」	『賛成派』 97.9%
「男女とも経済的自立ができるように育てる」	『賛成派』 97.6%
「性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる」	『賛成派』 96.5%
「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」	『賛成派』 51.8%
⇒ 『賛成派』が『反対派』より高い	
「男は仕事、女は家庭を守るように育てる」	『反対派』 68.3%
⇒ 『反対派』が『賛成派』より高い	

※「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて『賛成派』、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせて『反対派』とする。

■ 『賛成派』と『反対派』	『賛成派』	『反対派』
ア 「男女とも経済的自立ができるように育てる」	97.6%	0.1%
イ 「男女とも身の回りの家事ができるように育てる」	97.9%	0.6%
ウ 「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」	51.8%	32.1%
エ 「男は仕事、女は家庭を守るように育てる」	19.5%	68.3%
オ 「性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる」	96.5%	1.0%

13-1図 子どもの育て方について〔全体〕



ア 男女とも経済的自立ができるように育てる

『賛成派』 97.6%, 『反対派』 0.1% ⇒ 『賛成派』が高い

【全体】

『賛成派』は97.6%, 『反対派』は0.1%と, 『賛成派』が大きく上回っている。

【性別】

特に大きな差異はない。

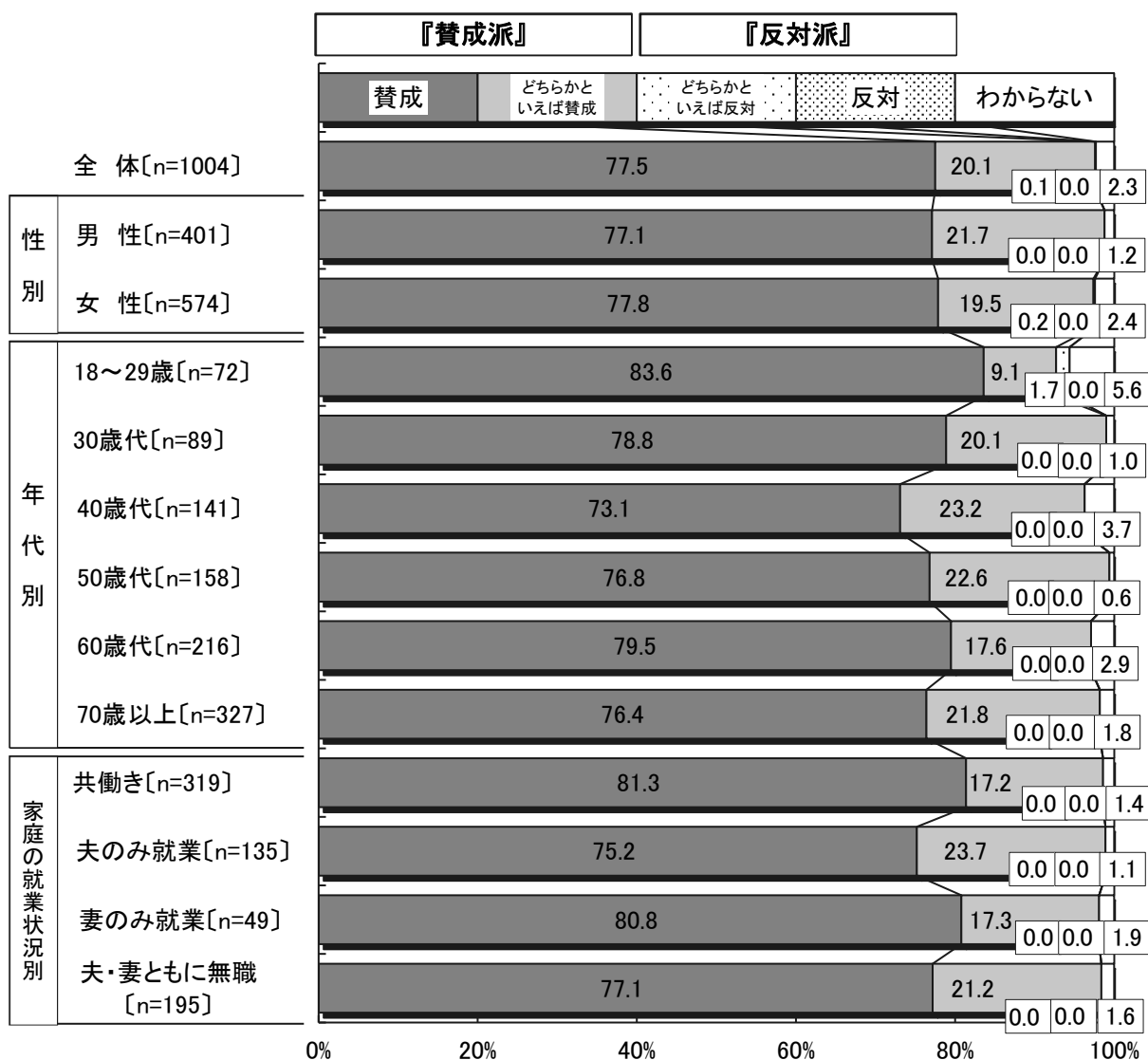
【年代別】

特に大きな差異はない。

【家庭の就業状況別】

特に大きな差異はない。

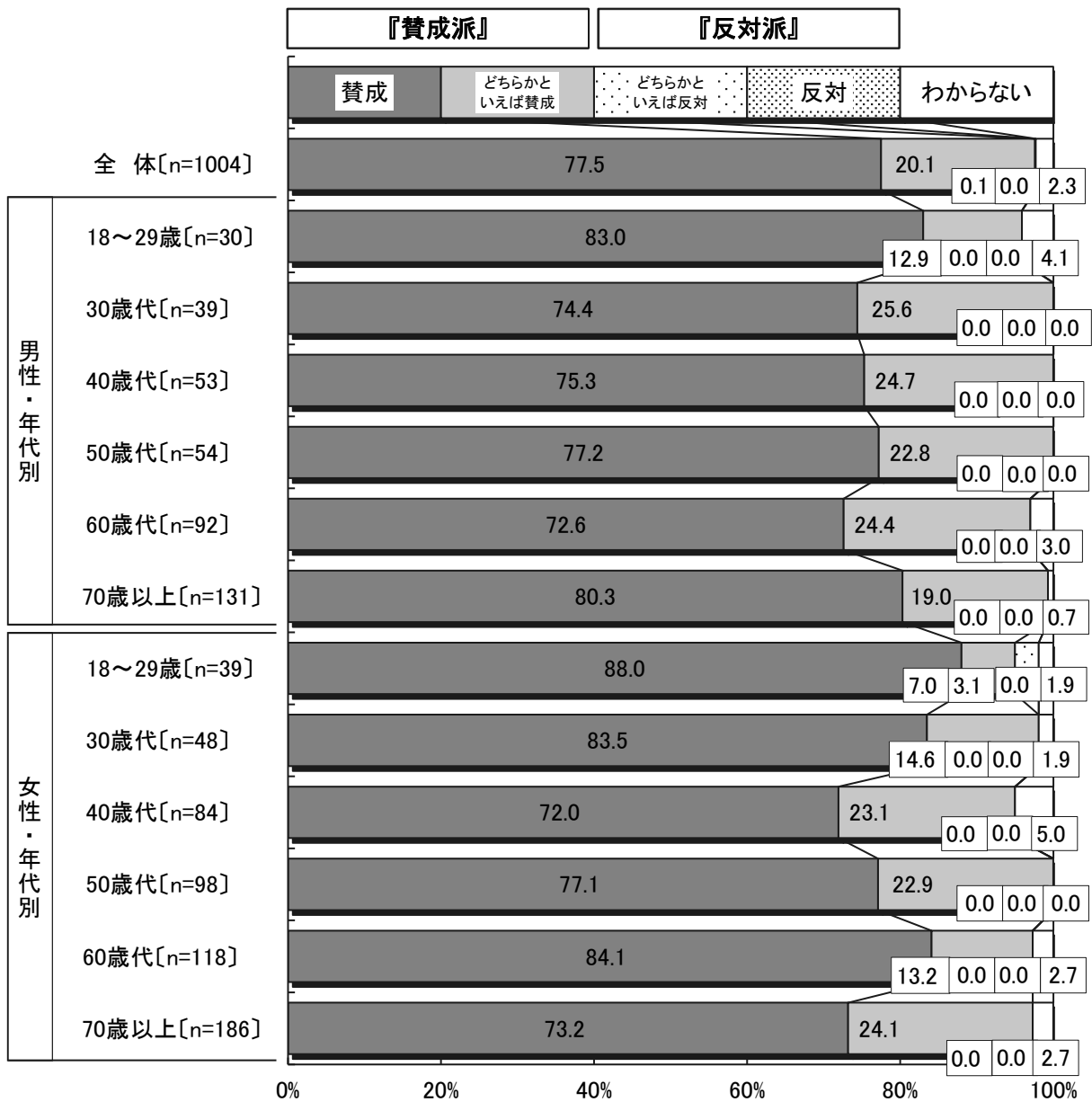
13-2図 子どもの育て方について〔全体・性別・年代別・家庭の就業状況別〕
(ア 男女とも経済的自立ができるように育てる)



【性年代別】

全ての年代で『賛成派』が95%を上回り，特に大きな差異はない。

13-3図 子どもの育て方について〔性年代別〕
(ア 男女とも経済的自立ができるように育てる)



イ 男女とも身の回りの家事ができるように育てる

『賛成派』 97.9%, 『反対派』 0.6% ⇒ 『賛成派』が高い

【全体】

『賛成派』は97.9%, 『反対派』は0.6%と『賛成派』が大きく上回っている。

【性別】

男女で『賛成派』については差異はないが、女性は、「賛成」が76.0%と男性の67.9%より8.1ポイント高い。

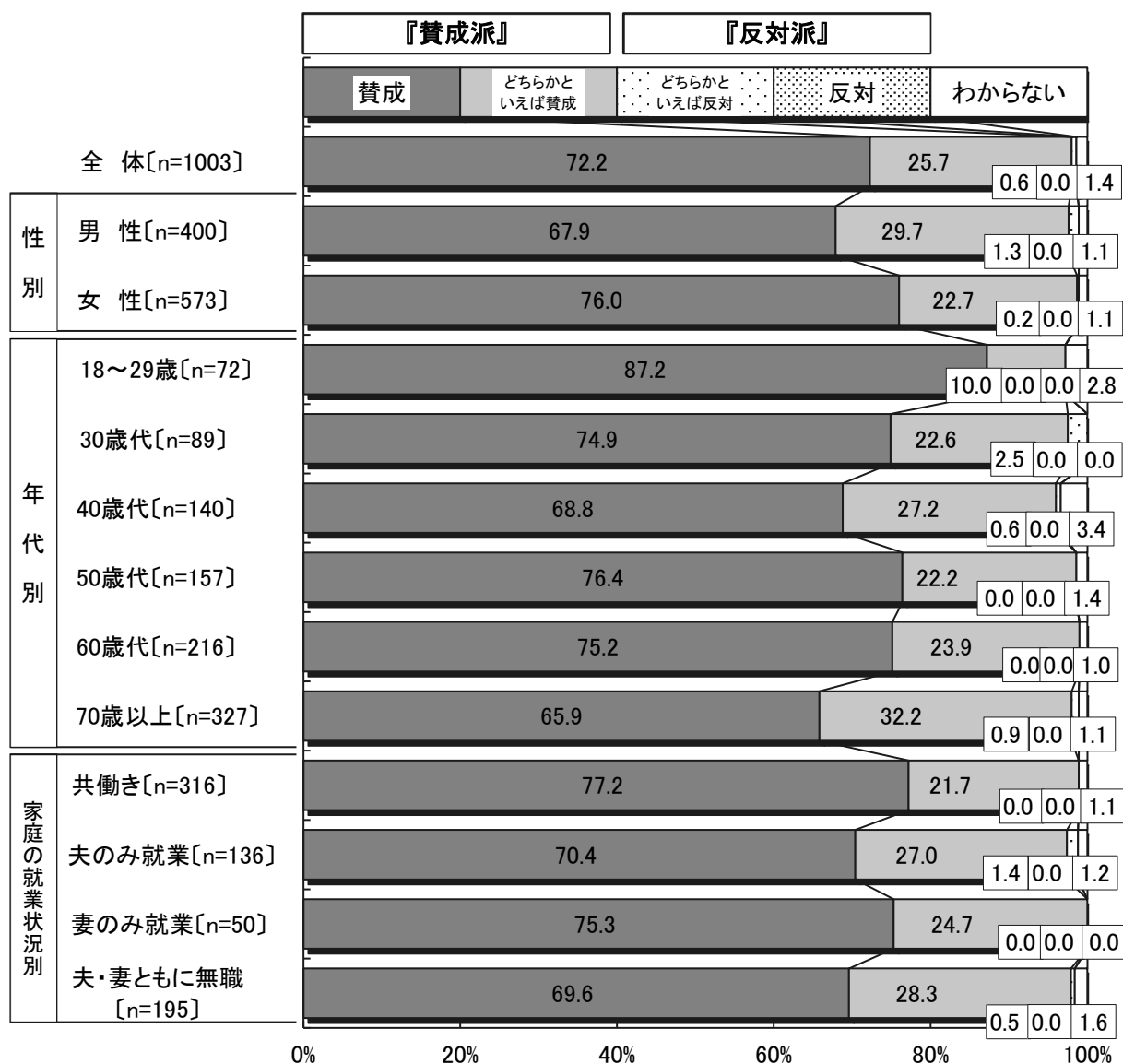
【年代別】

年代で『賛成派』については差異はないが、18～29歳は、「賛成」が87.2%と他の年代より高い。一方、70歳以上が65.9%, 40歳代が68.8%と他の年代より低い。

【家庭の就業状況別】

特に大きな差異はない。

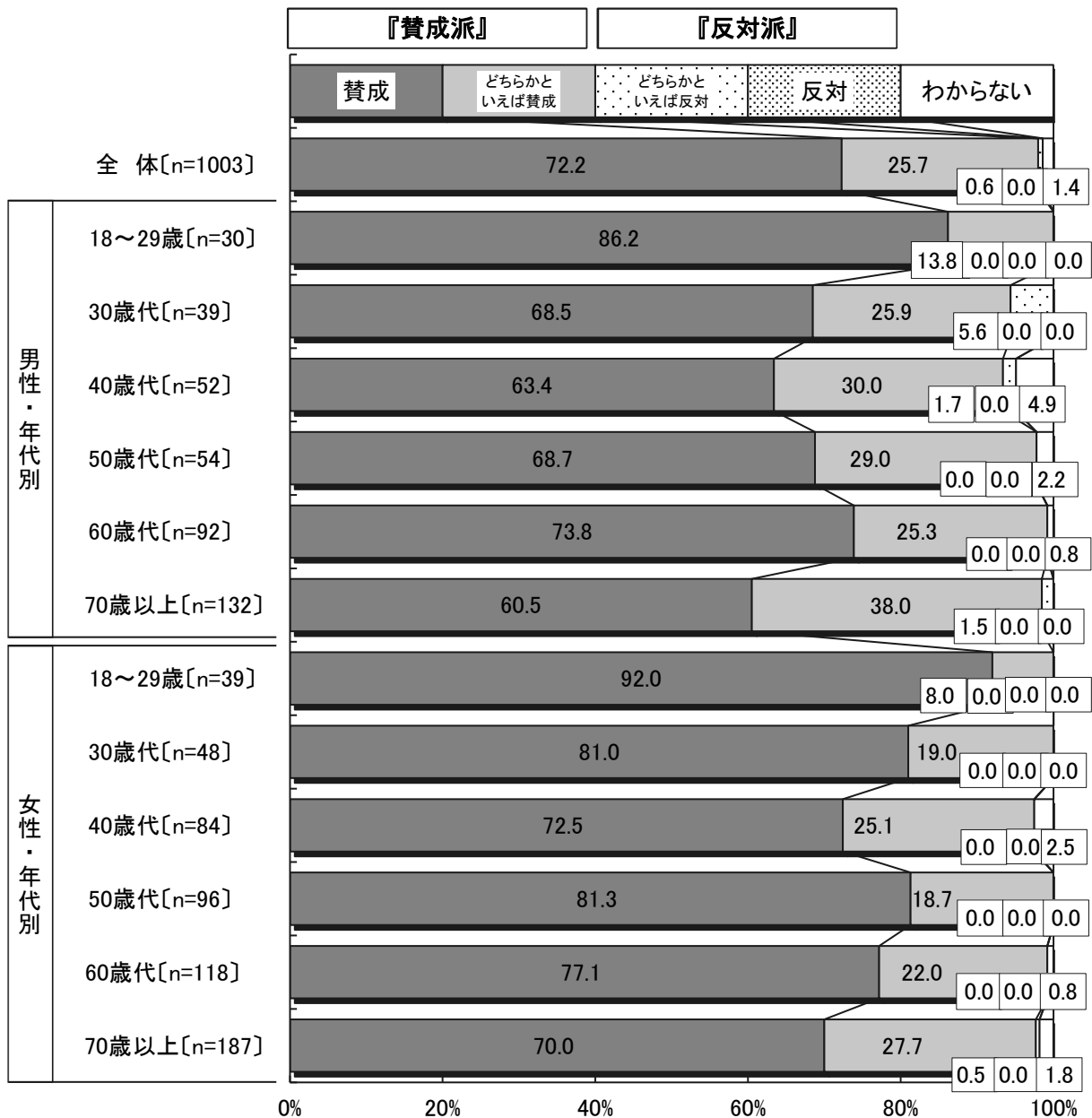
13-4図 子どもの育て方について〔全体・性別・年代別〕
(イ 男女とも身の回りの家事ができるように育てる)



【性年代別】

全ての年代で『賛成派』が9割を上回り、『賛成派』について差異はないが、女性18～29歳と男性18～29歳は、「賛成」がそれぞれ92.0%、86.2%と他の年代より高い。一方、男性70歳以上は「賛成」が60.5%と他の年代より低い。また、どの年代でも女性が男性より「賛成」の値が高くなっている。

13-5図 子どもの育て方について〔性年代別〕
(イ 男女とも身の回りの家事ができるように育てる)



ウ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる

『賛成派』 51.8%, 『反対派』 32.1% ⇒ 『賛成派』が高い

【全体】

『賛成派』は51.8%, 『反対派』は32.1%と、『賛成派』が19.7ポイント高い。

【性別】

男性は、『賛成派』が61.1%と女性の46.0%より15.1ポイント高い。

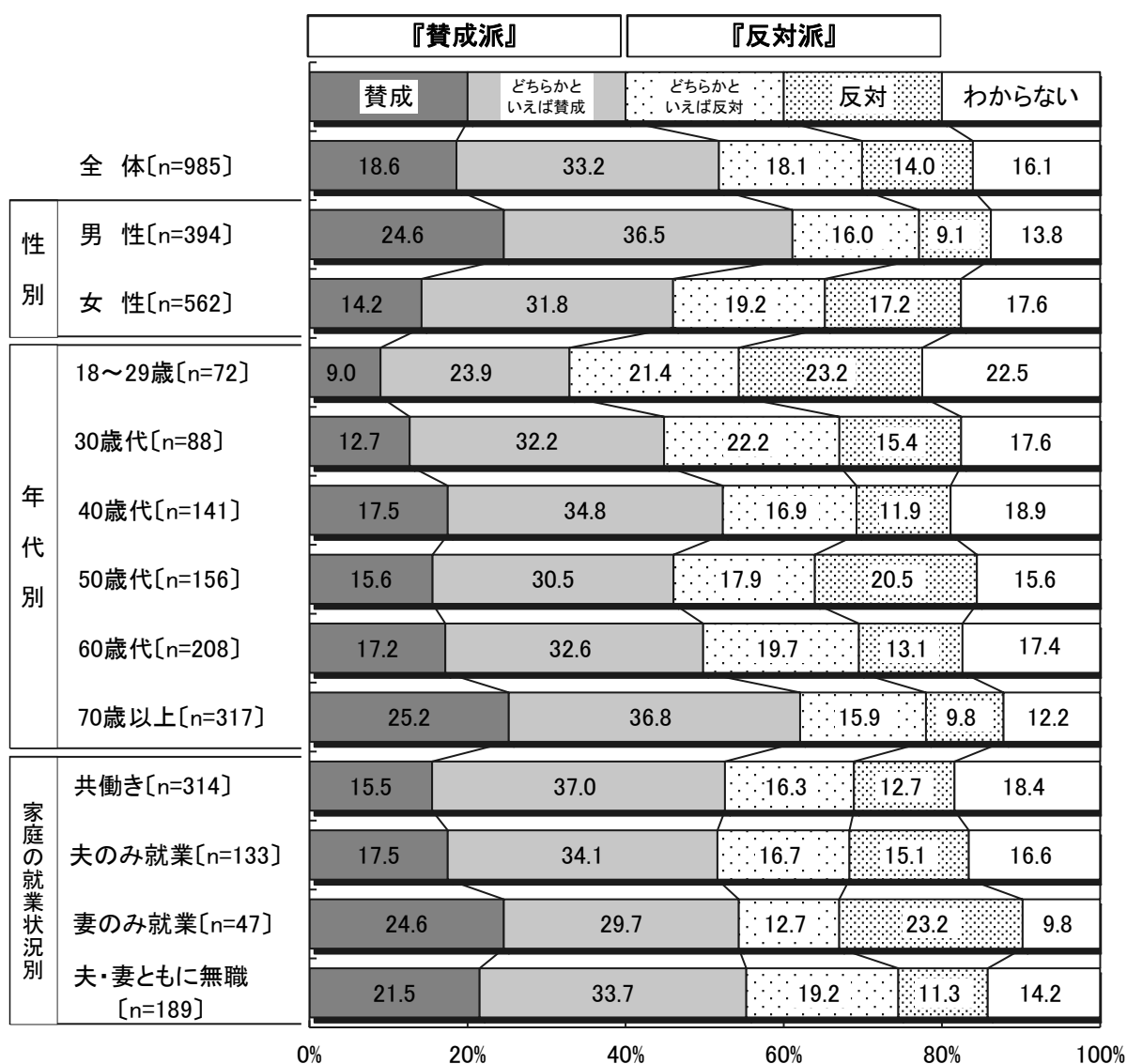
【年代別】

18～29歳は、『賛成派』が32.9%と他の年代より低く、『反対派』が44.6%と『反対派』が『賛成派』より11.7ポイント高い。70歳以上は、『賛成派』が62.0%と他の年代より高い。

【家庭の就業状況別】

『賛成派』および『反対派』については差異はないが、妻のみ就業家庭は、「反対」が23.2%と他の就業状況より高い。

13-6図 子どもの育て方について〔全体・性別・年代別〕
 (ウ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる)

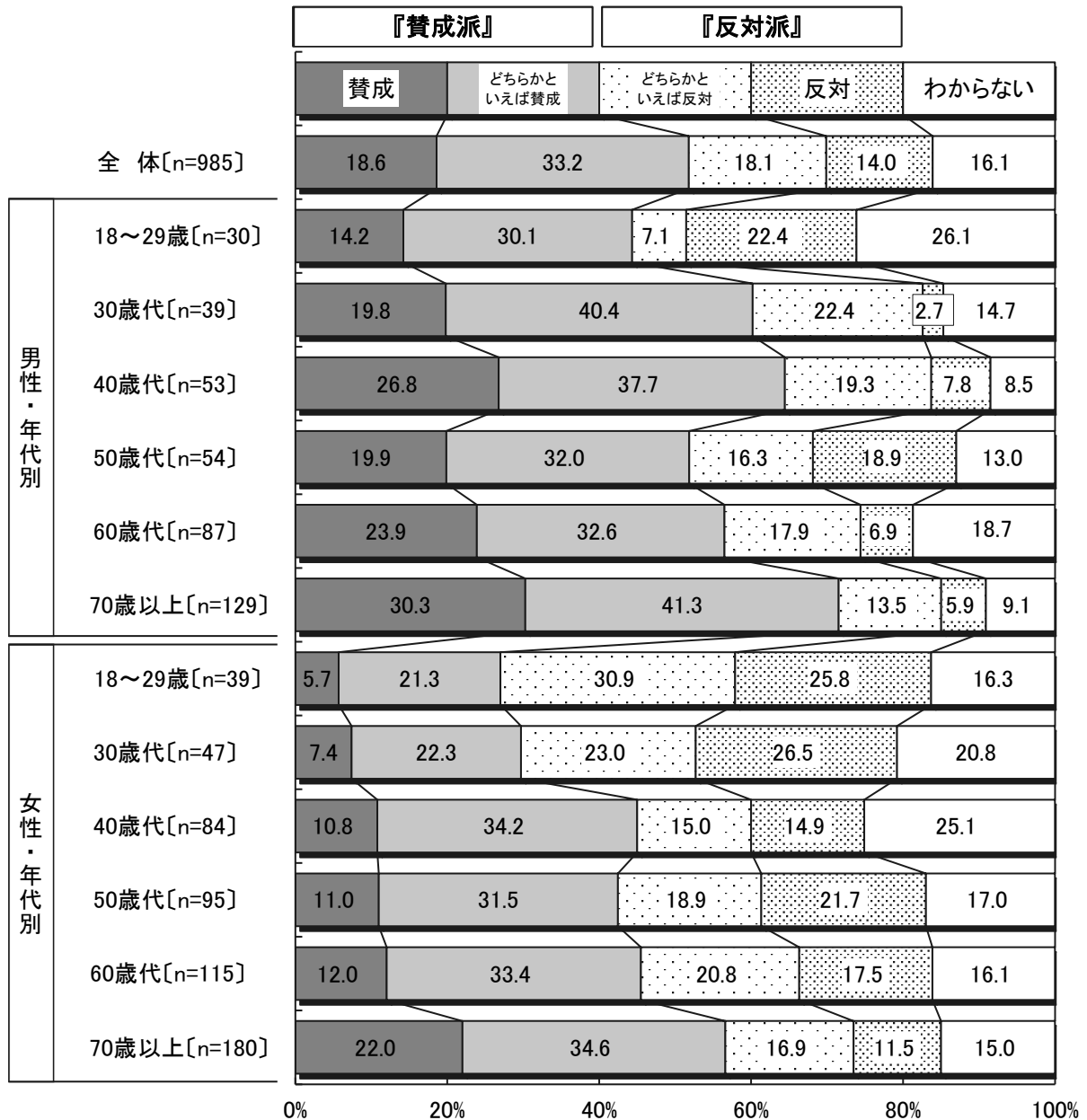


【性年代別】

男性は、全ての年代で『賛成派』が『反対派』を上回っている。男性70歳以上、男性40歳代、男性30歳代は、『賛成派』がそれぞれ71.6%、64.5%、60.2%と、他の年代より高い。

女性は、女性18～29歳と女性30歳代で『反対派』が『賛成派』を上回っており、それぞれ『反対派』の値は56.7%、49.5%と他の年代より高い。

13-7図 子どもの育て方について〔性年代別〕
 (ウ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる)



エ 男は仕事，女は家庭を守るように育てる

『賛成派』19.5%，『反対派』68.3% ⇒ 『反対派』が高い

【全体】

『賛成派』は19.5%，『反対派』は68.3%と，『賛成派』が48.8ポイント高い。

【性別】

女性は，『反対派』が71.0%と男性の64.8%より6.2ポイント高い。

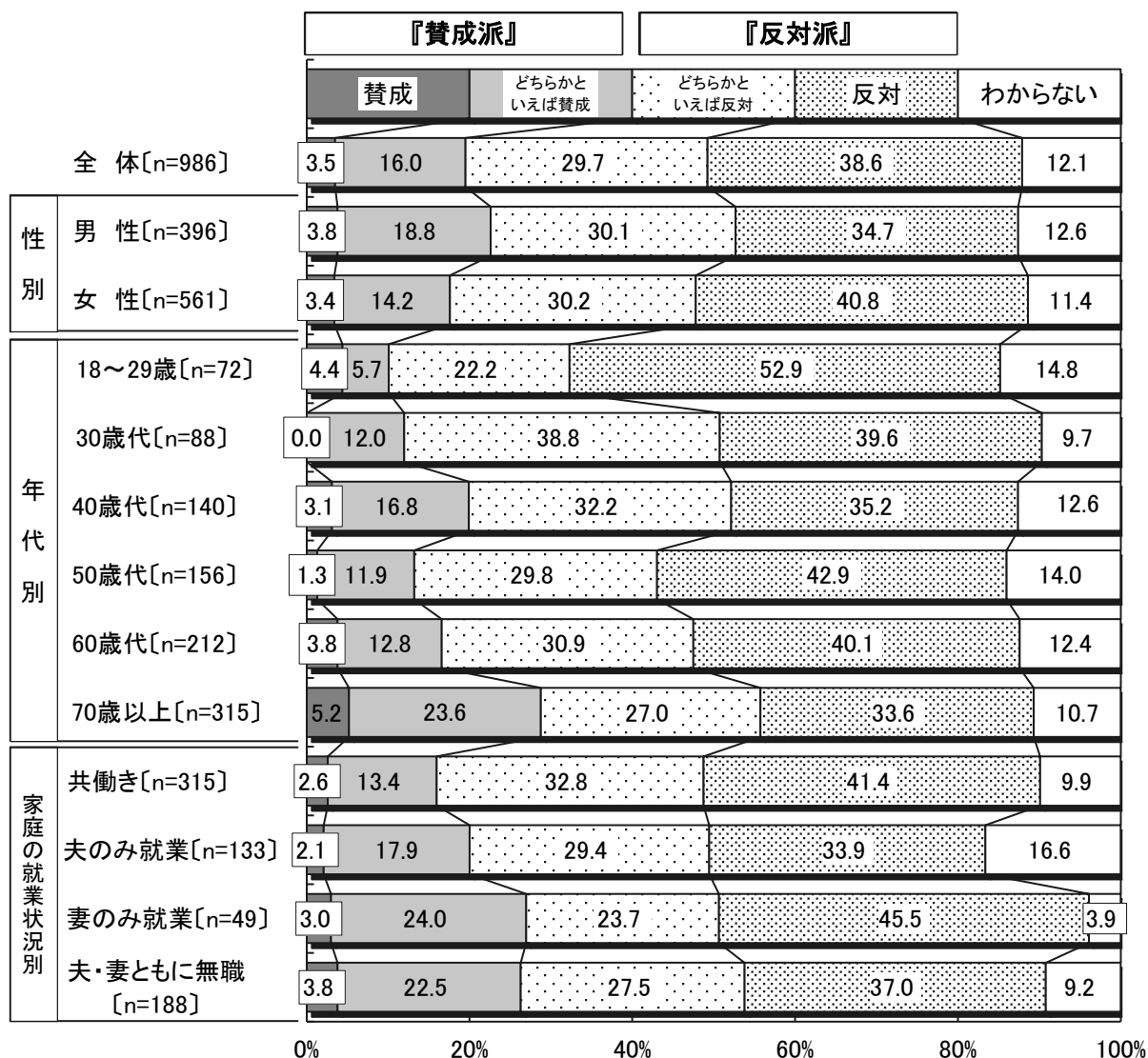
【年代別】

全ての年代で『反対派』が『賛成派』を上回っているが，70歳以上は『賛成派』が28.8%と他の年代より高い。

【夫婦の就業状況別】

共働き家庭は『反対派』が74.2%と他の就業状況より高い。一方，妻のみ就業家庭と夫・妻ともに無職家庭は，『賛成派』がそれぞれ27.0%，26.3%と他の就業状況より高い。

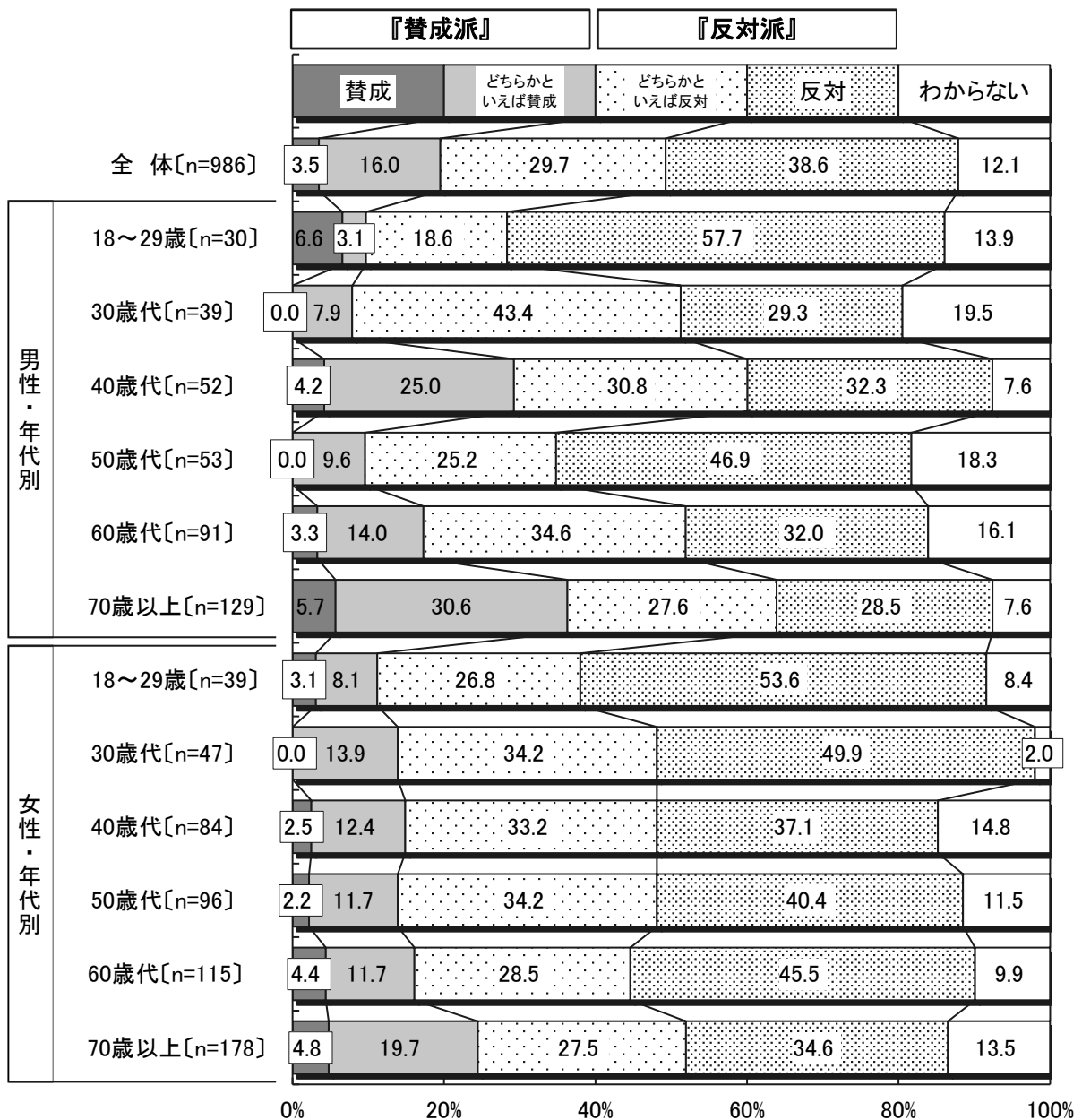
13-8図 子どもの育て方について〔全体・性別・年代別〕
(エ 男は仕事，女は家庭を守るように育てる)



【性年代別】

全ての年代で『反対派』が『賛成派』を上回り、女性30歳代と女性18～29歳は、『反対派』がそれぞれ84.1%、80.4%と他の年代より高い。一方、男性70歳以上、男性40歳代、女性70歳以上は、『賛成派』がそれぞれ36.3%、29.2%、24.5%と他の年代より高くなっている。

13-9図 子どもの育て方について〔性年代別〕(I 男は仕事, 女は家庭を守るように育てる)



オ 性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる

『賛成派』 96.5%, 『反対派』 1.0% ⇒ 『賛成派』が高い

【全体】

「賛成」が78.0%, 「どちらかといえば賛成」が18.5%で『賛成派』は96.5%, 「反対」が0.2%, 「どちらかといえば反対」が0.8%で『反対派』は1.0%と、『賛成派』が大きく上回っている。

【性別】

特に大きな差異はない。

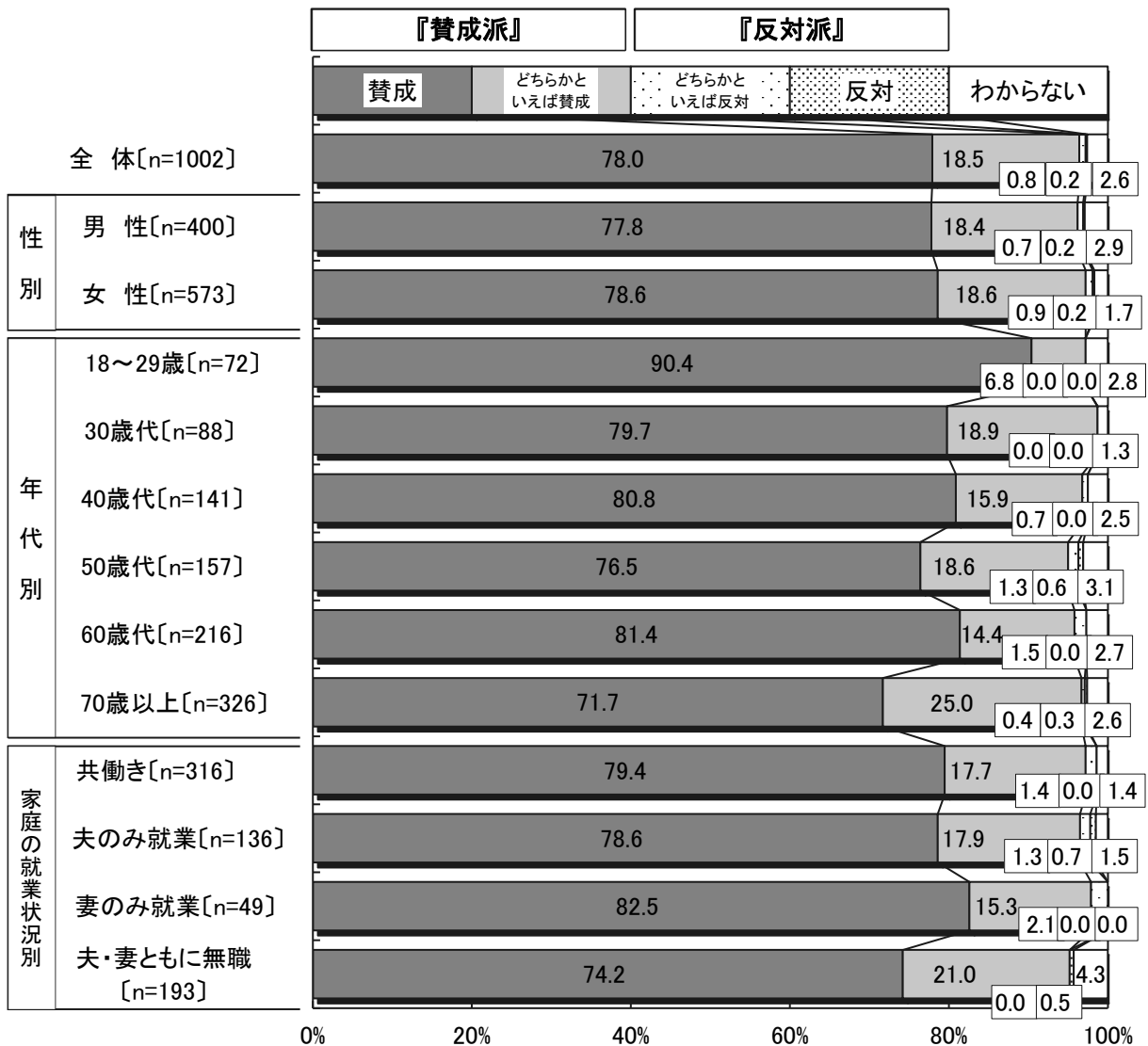
【年代別】

『賛成派』については年代で差異はないが、18～29歳は「賛成」が90.4%と他の年代より高い。一方、70歳以上は、「賛成」が71.7%と他の年代より低い。

【夫婦の就業状況別】

特に大きな差異はない。

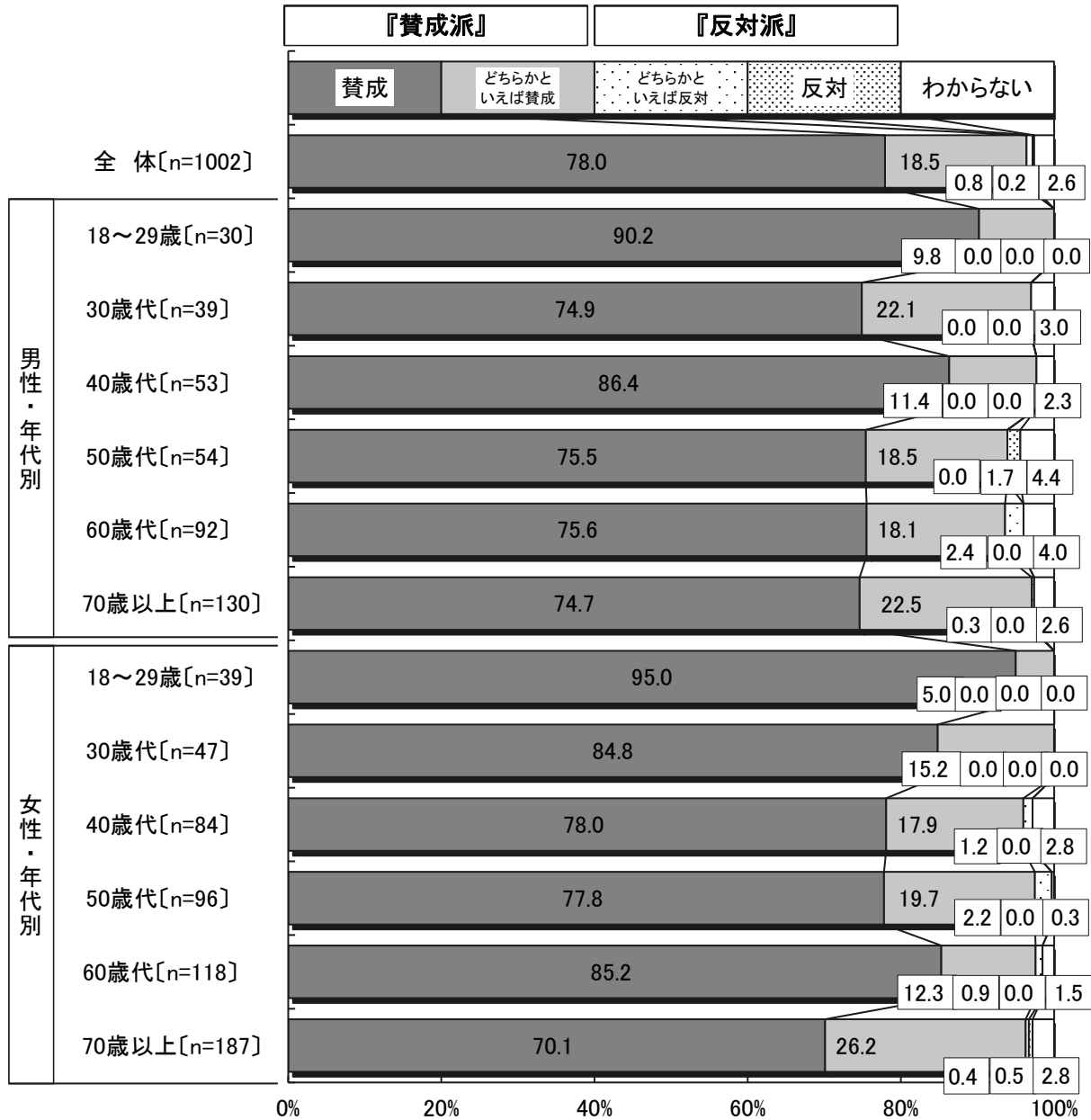
13-10図 子どもの育て方について〔全体・性別・年代別〕
(オ 性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる)



【性年代別】

全ての年代で『賛成派』が9割を上回り、『賛成派』について差異はないが、女性18～29歳、男性18～29歳、男性40歳代、女性60歳代、女性30歳代は、「賛成」がそれぞれ95.0%、90.2%、86.4%、85.2%、84.8%と他の年代より高い。

13-11図 子どもの育て方について〔性年代別〕
 (オ 性別に関わらず子どもの個性を大切に育てる)



(14) 子どもに受けさせたい教育(最終学歴)について

問14 お子さまの有無に関わらず、自分の子どもに受けさせたい教育(最終学歴)についてあてはまるものに○をつけてください。○はそれぞれ1つずつ

<男の子の場合> 「大学」70.4%、「短期大学,各種学校,専修学校」7.8%
 <女の子の場合> 「大学」60.1%、「短期大学,各種学校,専修学校」19.6%

【全体】

子どもが男の子の場合、「大学」が70.4%と最も高く、「短期大学,各種学校,専修学校」が7.8%、「高校」が7.4%と続く。

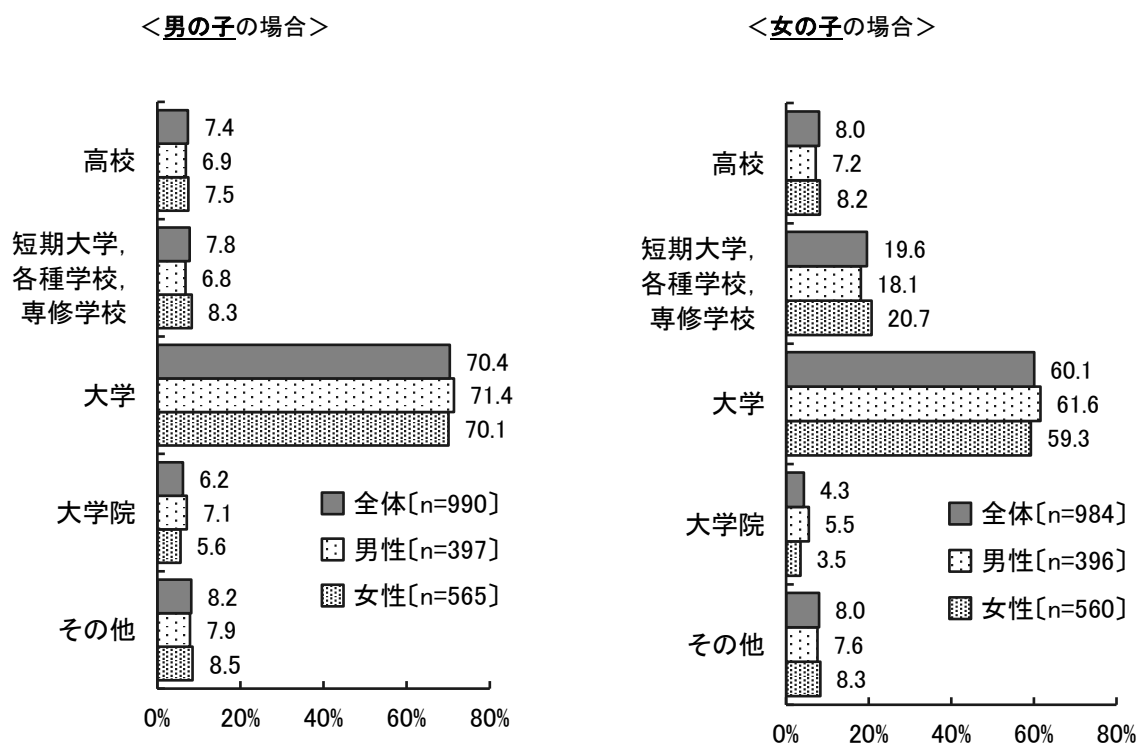
子どもが女の子の場合、「大学」が60.1%と最も高く、「短期大学,各種学校,専修学校」が19.6%、「高校」が8.0%と続く。

「短期大学,各種学校,専修学校」は、子どもが女の子の場合男の子の場合より11.8ポイント高く、「大学」は、子どもが男の子の場合女の子の場合より10.3ポイント高い。

【性別】

特に大きな差異はない。

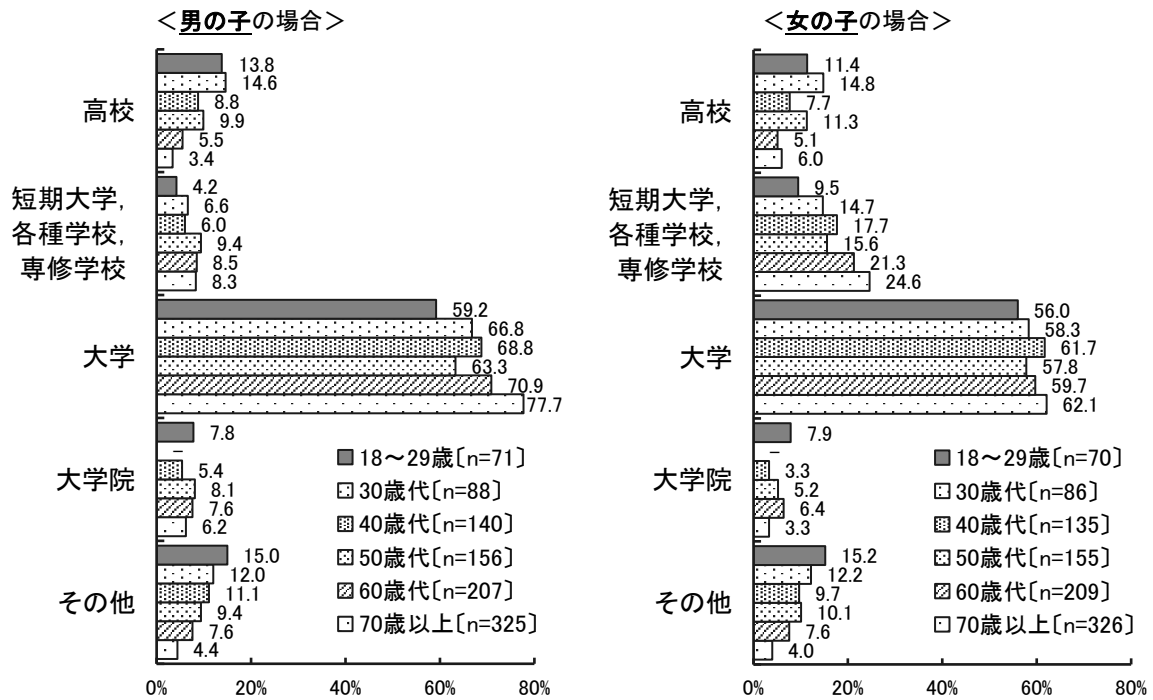
14-1図 子どもに望む最終学歴〔全体・性別〕



【年代別】

子どもが男の子の場合と女の子の場合の差を年代別で比較すると、40歳代、60歳代、70歳以上は、「短期大学、各種学校、専修学校」について、「女の子の場合」が「男の子の場合」より10ポイント以上高い。また、「大学」について、60歳代、70歳以上は、「男の子の場合」が「女の子の場合」より10ポイント以上高く、差が大きい。

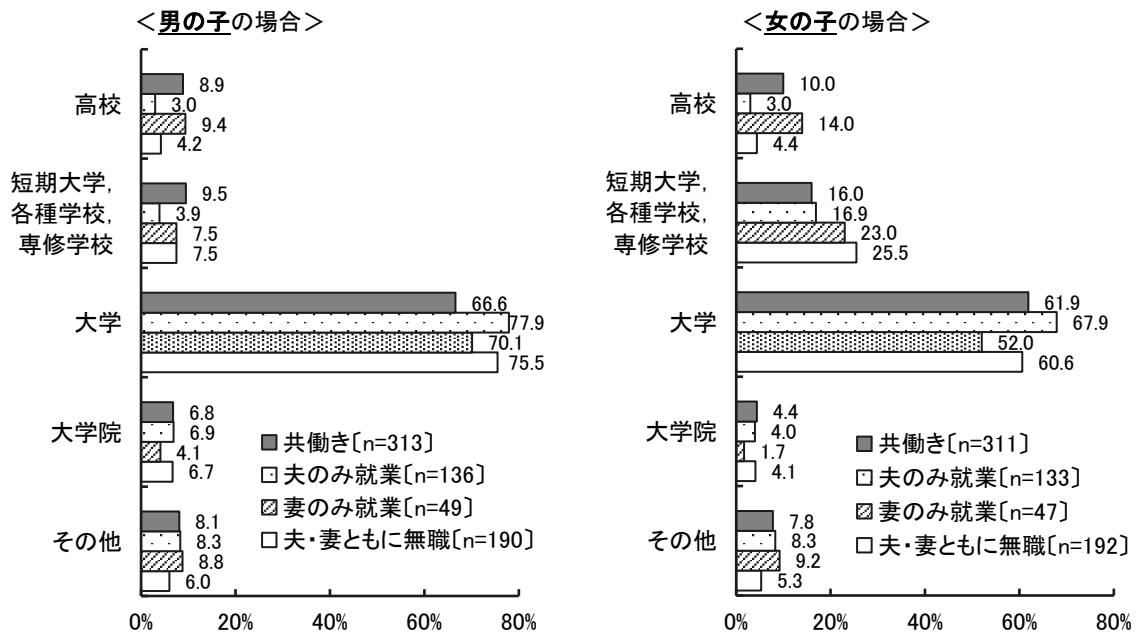
14-2図 子どもに望む最終学歴〔年代別〕



【家庭の就業状況別】

妻のみ就業家庭は、子どもが女の子の場合の「大学」が52.0%と他の就業状況より低い。

14-3図 子どもに望む最終学歴〔夫婦の就業状況別〕



(15) 父親が子育てに関わることについて〔複数回答〕

問15 父親が子育てに関わることについてどのように考えますか。○はいくつでも

「父親も育児を行うことは当然だ」	73.7%
「子どもに良い影響を与える」	67.9%
「父親自身に良い影響を与える」	55.1%
「仕事と両立させることは、現実として難しい」	31.9%

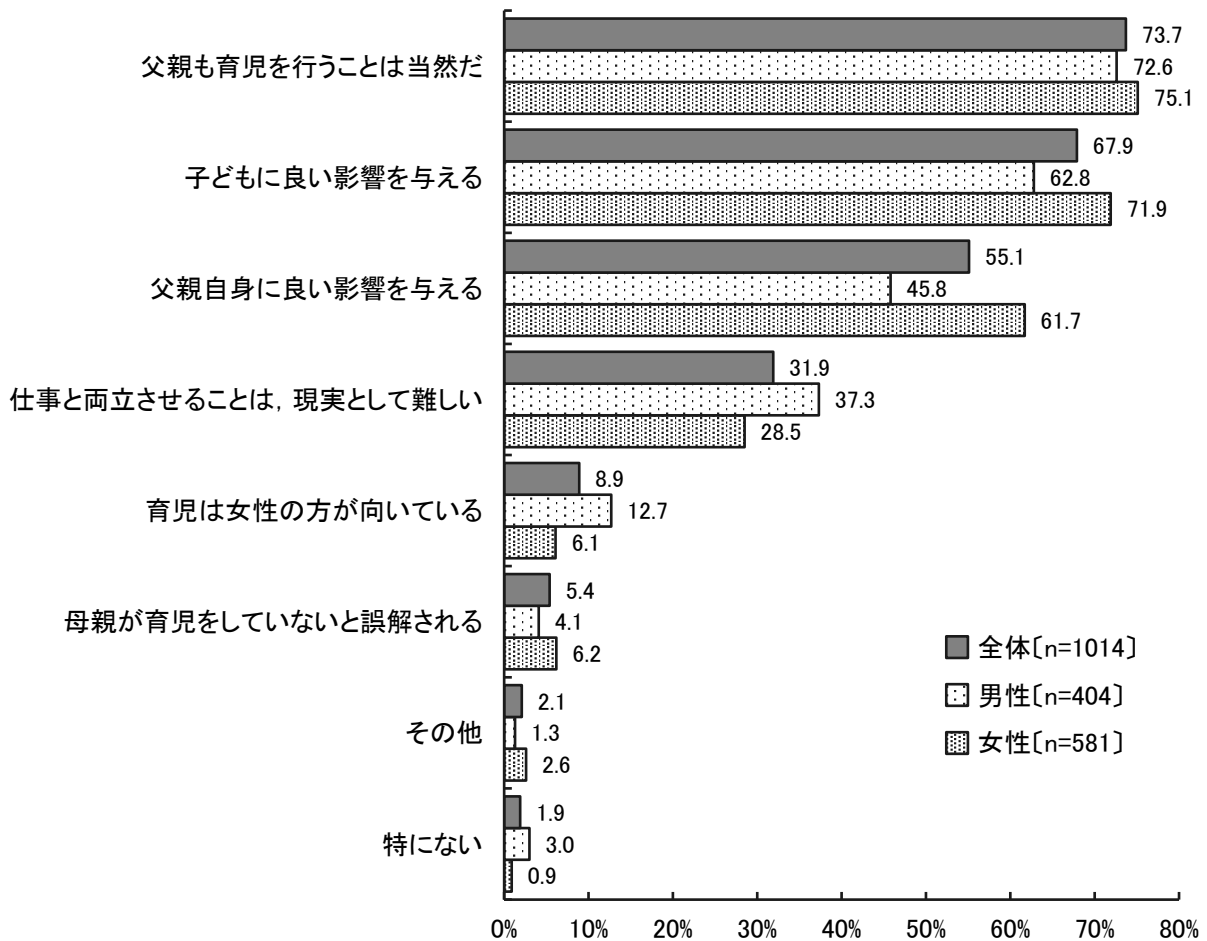
【全体】

「父親も育児を行うことは当然だ」が73.7%と最も高く、「子どもに良い影響を与える」が67.9%「父親自身に良い影響を与える」が55.1%、「仕事と両立させることは、現実として難しい」が31.9%と続く。

【性別】

女性は、「父親自身に良い影響を与える」が61.7%と男性より15.9ポイント、「子どもに良い影響を与える」が71.9%と男性より9.1ポイント、それぞれ高い。一方、男性は、「仕事と両立させることは、現実として難しい」が37.3%と女性より8.8ポイント、「育児は女性の方が向いている」が12.7%と女性より6.6ポイント、それぞれ高くなっている。

15-1図 父親が子育てに関わることについて〔性別〕



【性年代別】

男性18～29歳，男性30歳代，女性18～29歳，女性30歳代，女性40歳代は，「父親自身に良い影響を与える」がそれぞれ6割を上回り，他の年代より高い。

男性18～29歳は，「子どもに良い影響を与える」が76.7%と，他の男性の年代より高い。一方，女性50歳代は「子どもに良い影響を与える」が63.2%と他の女性の年代より低い。

男性18～29歳と男性40歳代は，「仕事と両立させることは，現実として難しい」がそれぞれ56.8%，44.0%と他の年代より高く，一方，「父親も育児を行うことは当然だ」が，それぞれ59.7%，62.8%と他の年代より低くなっている。

15-2図 父親が子育てに関わることについて〔性年代別〕

